



リバース サーキュレーション ドリル工法

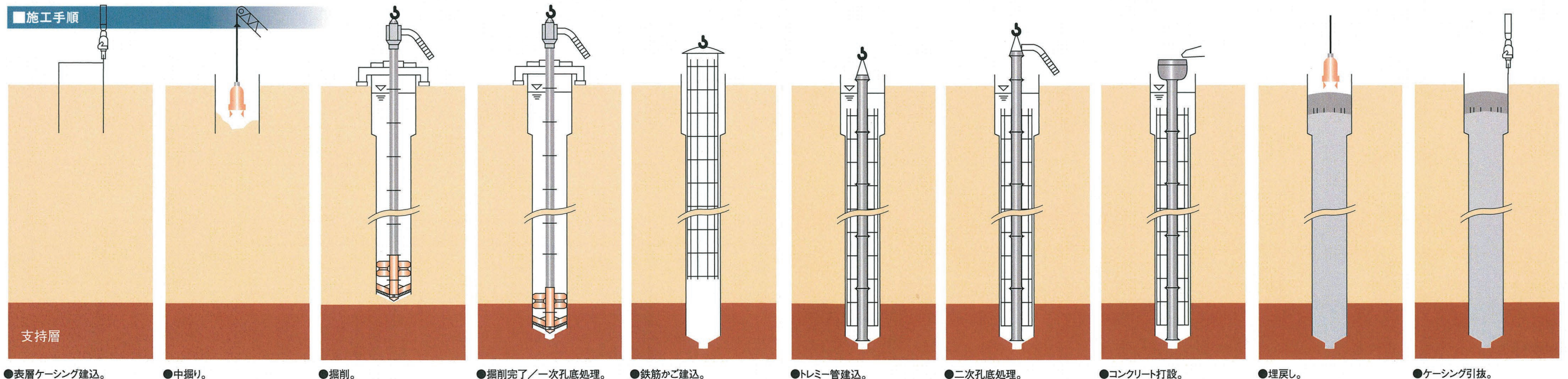
■工法説明

リバースサーキュレーションドリル工法とは、ビットを回転させ地盤を切削し、その土砂は、孔内水と共にサククションポンプ又はエアリフト方式により、地上に排出(泥水の逆循環方式)させる。孔壁保護は表層部にスタンドパイプを用い、以深は地盤中の粘性土が水に混入してきた泥水により孔壁に形成されたマッドケーキと、孔内水・地下水の水頭差で行う。(2m以上)その後鉄筋籠の建込み、コンクリート打設を行い現場にて杭を築造する。

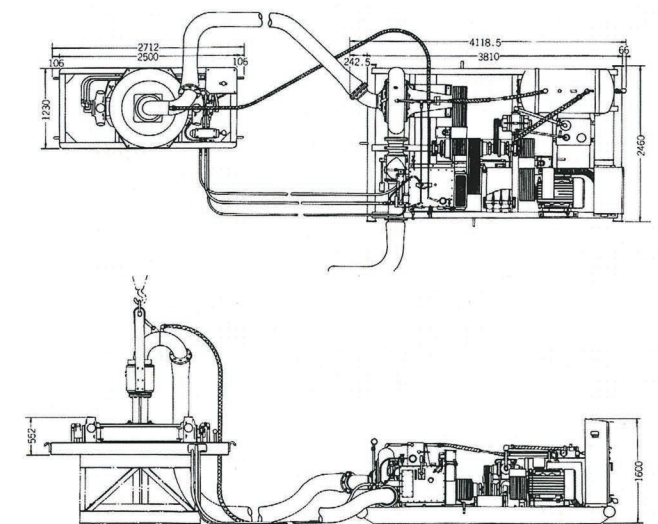
■工法の特長

1. 低振動低騒音で施工できる。
2. 大径で深い杭の施工が可能である。
3. 特殊なビットにより岩の掘削が可能である。
4. 水上施工が可能である。
5. 施工に信頼性がある。

■施工手順



●表層ケーシング建込。 ●中掘り。 ●掘削。 ●掘削完了/一次孔底処理。 ●鉄筋かご建込。 ●トレミー管建込。 ●二次孔底処理。 ●コンクリート打設。 ●埋戻し。 ●ケーシング引抜。



●リバース掘削機 (S320)